

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公表番号】特表 2006-500785 (P2006-500785A)

【公表日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【年通号数】公開・登録公報 2006-001

【出願番号】特願 2004-540141 (P2004-540141)

【国際特許分類】

**H 0 1 G 15/00 (2006.01)**

**H 0 1 G 7/04 (2006.01)**

**H 0 1 L 27/04 (2006.01)**

**H 0 1 L 21/822 (2006.01)**

**H 0 1 L 27/105 (2006.01)**

**H 0 1 L 21/8246 (2006.01)**

【F I】

H 0 1 G 4/38 Z

H 0 1 G 7/04

H 0 1 L 27/04 C

H 0 1 L 27/10 4 4 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 22 日 (2006.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

強誘電特性を有する温度補償されたキャパシタ装置 (20) において、  
強誘電材料を有する強誘電キャパシタ (22) と、  
負の温度係数のキャパシタンス材料で構成された負の温度可変キャパシタ (24) と、  
負の温度可変キャパシタ (24) と強誘電キャパシタ (22) との間の電氣的に直列の接続 (26)  
とを具備している温度補償されたキャパシタ装置。

【請求項 2】

電氣的に直列の接続 (26) は強誘電キャパシタ (22) と負の温度可変キャパシタ (24) との間の直接的な物理的接続を具備している請求項 1 記載の温度補償されたキャパシタ装置。

【請求項 3】

強誘電材料は強誘電層 (28) を具備し、負の温度係数のキャパシタンス材料は直接強誘電層 (28) と面してそれと接触している常誘電層 (32) を具備している請求項 1 または 2 記載の温度補償されたキャパシタ装置。

【請求項 4】

強誘電特性を有する温度補償されたキャパシタの製造方法において、  
第 1 の電極層 (38) を設け、  
第 1 の電極層 (38) 上に強誘電体前駆材料の強誘電体前駆物質層を付着させ、  
強誘電層 (28) を生成するために強誘電体前駆物質層を反応させ、  
負の温度係数のキャパシタンス材料の負の温度可変前駆物質層を強誘電層 (28) 上に付着させ、  
常誘電層 (32) を形成するために負の温度可変前駆物質層を反応させ、

第 2 の電極層 (40) を常誘電層 (32) 上に配置するステップを含んでいる方法。